

## 吉田享子教授 履歴・業績



## [履歴]

吉田 享子 (よしだ きょうこ)

1951年(昭和26年) 11月 4日 静岡県 生

### [学歴]

1971年3月	静岡県立浜松北高等学校卒業
1971年4月	津田塾大学学芸学部数学科入学
1975年3月	津田塾大学学芸学部数学科卒業
1975年4月	慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程入学
1977年3月	慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程修了
2000年4月	慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程入学
2005年3月	慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了 博士(工学)

### [職歴]

1977年4月	株式会社 日本科学技術研修所 入社
1988年3月	株式会社 日本科学技術研修所 退社
1988年4月	株式会社 アーク情報システム 入社
1996年8月	株式会社 アーク情報システム 退社
1997年4月	平成国際大学法学部 専任講師
2001年4月	平成国際大学法学部 助教授
2007年3月	平成国際大学法学部 退職
2007年4月	専修大学ネットワーク情報学部 教授

東京立正女子短期大学, 湘南工科大学, 大妻女子大学で非常勤講師を務める

### [学内委員会]

セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員, 情報科学センターセンター員, 就職指導委員会委員, 入学試験委員会委員, 自己点検・評価委員会委員, キャリアデザインセンター運営委員会委員

### [研究員]

1996年4月—1997年3月	慶應義塾大学大学院理工学研究科 訪問研究員
2012年4月—2013年3月	専修大学国内研究員

## [所属学会]

情報処理学会, 電子情報通信学会, 人工知能学会, 情報システム学会

## [研究分野]

ソフトウェア工学, プロジェクトマネジメント, 情報システム学

## [学外委員]

2010年4月—2014年3月	情報処理学会	情報システムと社会環境研究会	運営委員
2018年4月—2021年3月	情報処理学会	情報システムと社会環境研究会	運営委員

## [業績]

### [著作]

吉田享子（共著）『インターネット時代の情報処理概論』，共立出版，第3章，第5章～第7章，2002年4月

吉田享子（共著）『みて・考えて・創る コンピュータリテラシ』，共立出版，第2章～第5章，2001年9月

### [論文]

- [1] 河越友章，吉田享子，飯塚佳代，「音楽配信サービス利用の意思決定に及ぼすSNSの影響」，専修大学情報科学研究所所報No. 99，pp. 15-18，2022
- [2] 大久保南，中村愛子，飯塚佳代，吉田享子，「学生のライフスタイルとe-バンキング利用の関係」，専修ネットワーク&インフォメーションNo. 29，pp. 75-81，2021
- [3] 小林隆，飯塚佳代，吉田享子，「情報技術と経営知識により問題解決を行う人材を育てる:ITビジネスプログラムの歩み」，専修ネットワーク&インフォメーションNo. 29，pp. 45-49，2021
- [4] 峯岸朋弥（筑波大学），吉田享子，「物体検知・識別器による簡易な自動車交通量調査システムの試作と評価」，専修ネットワーク&インフォメーションNo. 28，pp. 53-58，2020
- [5] 沼晃介，吉田享子，「非理工系情報学部における深層学習と人工知能の教育に関する検討」，専修大学情報科学研究所所報No. 95，pp. 21-24，2020
- [6] 吉田享子，「視覚障がい者のためのトイレナビゲーションシステムの実装と評価」，専修大学情報科学研究所所報No. 86，pp. 13-18，2016
- [7] Sadahide Yoshida, Kyoko Yoshida, “Development of a Game that Visually-Impaired People Can Actively Enjoy”, HCI International 2015-Posters’ Extended Abstracts, Part II, Springer, CCIS 529, 2015
- [8] Kenji Matsunaga, Kyoko Yoshida, “Using Digital Document Network System for Group Learning Activities”, HCI International 2015-Posters’ Extended Abstracts, Part II, Springer, CCIS 529, pp. 1-5, 2015
- [9] 片野実，吉田享子，「欧州における盆栽需要に対する流通プロセスの提案—日本盆栽の振興のために」，専修ネットワーク&インフォメーションNo. 23，pp. 23-35，2015
- [10] 松永賢次，吉田享子，「グループ利用のためのデジタルドキュメントネットワーク構築システムの機能と実装について」，専修大学情報科学研究所所報No. 85，pp. 9-15，2015
- [11] Kenji Matsunaga, Kyoko Yoshida, “Digital Document Network System for Organizing Individual Knowledge”, LNCS, Springer, Human Interface and the Management of Information. Information and Knowledge Design and Evaluation LNCS 8521, pp. 396-403, 2014
- [12] 吉越将紘，天野ほのか，久住あも，大澤諒一，川崎裕太，吉田享子，「デジタルドキュメント間にネットワークを構築する Private Library Surfingシステムの開発」，専修ネットワーク&インフォメーションNo. 22，pp. 29-36，2014
- [13] Kyoko Yoshida, Ikuo Takahashi, Satoshi Honda, “Shopping support system using AR technology for visually impaired persons”, Assistive Technology: From Research to Practice P. Encarnação et

- al. (Eds.) IOS Press, 2013 doi:10.3233/978-1-61499-304-9-677, pp.677-683, 2013
- [14] Masahiro Yoshikoshi, Kenji Matsunaga, Kyoko Yoshida, “A Personal Document Network Building System for Digital Document Searches”, HCI International 2013-Posters’ Extended Abstracts, Part II, Springer, pp.458-461, 2013
- [15] Kayo Iizuka, Yasuki Iizuka, Kyoko Yoshida, “Real-Time Disaster Information Mapping System for University Campuses: Supporting Effective Evacuation Path by Mutual Assistance”, ICIC Express Letters-An International Journal of Research and Surveys Volume 6, Issue 12, pp.3087-3094, 2012
- [16] 石川雅之, 鈴木積規, 土屋勇人, 浦邊真寛, 喜島雅士, 飯塚佳代, 吉田享子, 「キャンパス内リアルタイム災害情報マップ—シナリオベースを中心とした避難経路選択の妥当性の検証より—」, 専修ネットワーク&インフォメーションNo.20, pp.43-53, 2012
- [17] 本間梢, 吉田享子, 「西洋音楽を箏で演奏するための楽譜作成システム」, 専修ネットワーク&インフォメーションNo.20, pp.55-62, 2012
- [18] Kayo Iizuka, Yasuki Iizuka, Kyoko Yoshida, “A Real-time Disaster Situation Mapping System for University Campuses”, Online Communities and Social Computing, LNCS, Springer vol.6778, pp.40-49, 2011
- [19] Kyoko Yoshida, Masahiro Urabe, Hayato Tsuchiya, Yasuki Iizuka, Kayo Iizuka, “Earthquake Disaster Prevention Support Tool—Visualization of Prevention Effectiveness by Utilizing Augmented Reality”, HCI 23, volume 174 of Communications in Computer and Information Science, Springer 12/174, pp.134-138, 2011
- [20] Yasuki Iizuka, Kyoko Yoshida, Kayo Iizuka, “An Effective Disaster Evacuation Assist System Utilized by an Ad-hoc Network”, HCI 23, volume 174 of Communications in Computer and Information Science, Springer 23/174, pp.31-35, 2011
- [21] 飯塚佳代, 吉田享子, 「文理融合型学部における情報リテラシー系科目の演習設計:「情報分析演習」における取り組み例より」, 専修大学情報科学研究所所報No.77, pp.17-29, 2011
- [22] 紺野賢, 渡辺優, 飯塚泰樹, 飯塚佳代, 吉田享子, 「小学生向け地域探索ゲームの開発—地域活性化と教育の観点からの考察—」, 専修ネットワーク&インフォメーションNo.18, pp.17-24, 2011
- [23] 西山洋平, 吉田享子, 飯塚佳代, 「「しんゆり・芸術のまち」に関する市民・学生の意識調査—2007年度情報戦略総合演習(社会調査クラス)事例より—」, 専修ネットワーク&インフォメーションNo.17, pp.19-29, 2011
- [24] 渡辺優, 柿崎高志, 飯塚佳代, 吉田享子, 「「しんゆり・芸術のまち」に関するWebアンケートシステムの開発—2007年度情報戦略総合演習(システムクラス)事例より—」, 専修ネットワーク&インフォメーションNo.17, pp.31-38, 2010
- [25] 飯塚佳代, 飯塚泰樹, 吉田享子, 「複数授業連携型Project Based Learning～クラス横連携型・学期フェーズ連携型・学年縦連携型の実践事例より～」, 専修大学情報科学研究所所報No.73, pp.1-18, 2009
- [26] 飯塚佳代, 吉田享子, 「複数の演習を組み合わせたProject Based Learningの実践～情報戦略総合演習の複数のクラスによる横連携と川崎市の外部連携の事例より～」, 専修大学情報科学研究所所報No.71, pp.1-133, 2009

- [27] 吉田享子, 「eラーニングシステムによる資格取得学習支援」, 平成国際大学論集第10号, pp. 17-34, 2006
- [28] 吉田享子, 飯島正, 櫻井彰人, 山口高平, 「反復型開発のためのユーザが理解しやすい進捗状況把握支援システム」, 情報処理学会論文誌第46巻3号, pp. 704-714, 2005
- [29] 吉田享子, 永田守男, 「ユースケースを利用したユーザのためのプロジェクトマネジメントシステム」, 電気学会論文誌C Vol. 123-C No. 4, pp. 707-713, 2003
- [30] Kyoko Yoshida, Morio Nagata, “A Controlling System of Progress for Users by Using Use Cases”, Fifth Joint Conference on Knowledge-Based Software Engineering, vol. 80, pp. 44-51, 2002
- [31] 吉田享子, 永田守男, 「ユースケースを利用したDFD作成システム」, 平成国際大学論集第6号, pp. 47-56, 2002
- [32] 吉田享子, 「Readingを重視したプログラミング入門」, 数学教育学会誌vol. 41No. 1・2, pp. 83-89, 2000
- [33] 吉田享子, 「ホームページ上の資格試験対策講座」, 数学教育学会誌vol. 41No. 1・2, pp. 91-96, 2000
- [34] 吉田享子, 篠塚真人 「WWW上のテストシステム」, 平成国際大学論集第4号, pp. 81-93, 2000
- [35] 吉田享子, 「地方自治体用の農地・農家管理システムについて」, 法学政治学論究第26号, pp. 41-61, 1995

## [学会発表等]

- [1] 峯岸朋弥, 吉田享子, 「画像識別器による簡易な自動車交通量調査システムの試作と評価」, 情報システムと社会環境研究発表会, 2019
- [2] 飯塚佳代, 吉田享子, 飯塚泰樹, 「避難誘導システムの有効性についての考察」, 電子情報通信学会総合大会, 2015
- [3] 高橋伊久夫, 小森谷裕之, 吉田享子, 「重度ロービジョン者の利用を想定した拡大鏡アプリの高速化と操作性向上の試み」, 日本ロービジョン学会学術総会, 2015
- [4] 吉田享子, 「ロービジョンを対象とした情報提供支援システム—ARの仕組みを利用した買い物支援システムの実装と評価」, 専修大学情報科学研究所, 2013
- [5] 松永賢次, 吉越将紘, 吉田享子, 「個人の知識を整理するためのデジタルドキュメントネットワーク構築システムの提案」, 情報処理学会 情報システムと社会環境研究発表会, 2013
- [6] 本田智史, 高橋伊久夫, 吉田享子, 「ロービジョンのためのスマートフォンを用いた買い物支援システムの実装と評価」, 電子情報通信学会福祉情報工学研究会, 2013
- [7] Kayo Iizuka, Yasuki Iizuka, Kyoko Yoshida, “Real-time Disaster Information Mapping System Enabling Effective Evacuation Path by Mutual Assistance”, APCHI2012, 2012
- [8] 共同執筆, 「ISデジタル辞典—重要用語の基礎知識—」, 一般社団法人情報処理学会, 情報システムと社会環境研究会編, 2012
- [9] 本田智史, 高橋伊久夫, 吉田享子, 「ARの仕組みを利用した店舗内ナビゲーションシステムの実装と評価」, 電子情報通信学会福祉情報工学研究会, 2012
- [10] 飯塚佳代, 吉田享子, 「情報リテラシー系演習における達成度確認型演習の実践について～ネットワーク情報学部「情報分析演習」の事例について～」, 専修大学情報科学研究所, 2012
- [11] 吉越将紘, 久住あも, 天野ほのか, 吉田享子, 「複数の本を関連付けて読むための電子書籍アプリケーションの提案」, 情報処理学会情報システムと社会環境研究発表会, 2011

- [12] 本田智史, 高橋伊久夫, 吉田享子, 「ロービジョン向け店舗内ナビゲーションシステムの提案」, 情報処理学会 情報システムと社会環境研究発表会, 2011
- [13] 久住あも, 吉越将紘, 天野ほのか, 川崎裕太, 吉田享子, 「電子書籍をリンクして読むためのアプリケーションの提案」, 情報処理学会全国大会, 2011
- [14] 鈴木積規, 石川雅之, 飯塚泰樹, 吉田享子, 飯塚佳代, 「共助を支援する防災マップシステムの提案目的地へ到達するパスの妥当性からの評価」, 日本災害情報学会第13回学会大会, 2011
- [15] 飯塚佳代, 鈴木積規, 石川雅之, 飯塚泰樹, 吉田享子, 「位置情報取得可能なリアルタイム災害情報マップシステム」, 情報処理学会情報システムと社会環境研究発表会, 2011
- [16] 土屋勇人, 浦邊真寛, 綱島俊晃, 飯塚泰樹, 飯塚泰樹, 吉田享子, 飯塚佳代, 「キャンパス内リアルタイム被災情報マップの提案」, 情報処理学会情報システムと社会環境研究発表会, 2010
- [17] 土屋勇人, 浦邊真寛, 望月翔, 飯塚泰樹, 吉田享子, 飯塚佳代, 「拡張現実感技術を用いた防災対策効果の可視化」, 情報処理学会全国大会, 2010
- [18] 福原和貴, 大森達也, 西山洋平, 飯塚泰樹, 吉田享子, 飯塚佳代, 「アドオン型 Web Mosaic Viewerの構築～川崎市「しんゆり・芸術のまち」への適用事例より～」, 情報処理学会全国大会, 2009
- [19] 紺野賢, 渡辺優, 山本正人, 飯塚泰樹, 吉田享子, 飯塚佳代, 「3Dゲームによる小学生向け地域学習教材の構築—川崎市「しんゆり・芸術のまち」への適用事例より—」, 情報処理学会全国大会, 2009
- [20] 吉田享子, 飯塚佳代, 飯塚泰樹, 「開講年度の異なる演習を組み合わせたProject Based Learningの実践～川崎市「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムと連携した取り組み事例より～」, 情報処理学会情報システムと社会環境研究発表会, 2009
- [21] 飯塚佳代, 吉田享子, 「複数の演習を組み合わせたProject Based Learningの実践～川崎市「しんゆり・芸術のまち」PR委員会と連携した取り組み事例より～」, 情報処理学会情報システムと社会環境研究発表会, 2008
- [22] 吉田享子, 「ソフトウェア開発プロジェクトの傾向と課題」, 専修大学情報科学研究所, 2008
- [23] 吉田享子, 永田守男, 「ユースケースを使ったユーザのための進捗管理」, 情報処理学会ソフトウェア工学研究会, 2001
- [24] 吉田享子, 「ユースケースを利用したDFD作成システム」, 情報処理学会全国大会, 2001
- [25] 吉田享子, 「ホームページ上の資格試験対策講座」, 数学教育学会春季例会, 2000
- [26] 吉田享子, 「ExcelVBAによるプログラミング教育」, 数学教育学会春季例会, 1998
- [27] 吉田享子, 「イントラネットを利用した情報処理教育」, 数学教育学会春季例会, 1998
- [28] 吉田享子, 「Windows環境でのプログラミング言語教育—Visual Basicの指導法について—」, 数学教育学会春季例会, 1995

## [表彰]

Best Paper Award of the 4th International Conference on Online Communities and Social Computing, the 14th Human-Computer Interaction International Conference 2011  
Kayo Iizuka, Yasuki Iizuka, Kyoko Yoshida, "A Real-time Disaster Situation Mapping System for University Campuses", Online Communities and Social Computing, LNCS, Springer vol.6778, pp.40-49, 2011